

令和3年度・4年度

鹿児島県租税教育研究委嘱校

# 租税教育の実際



指宿市立山川中学校

# 目 次

1	はじめに	
(1)	指宿市の概要	1
(2)	指宿市立山川中学校・校区の概要	1
2	研究の概要	
(1)	研究主題	2
(2)	主題設定の理由	2
(3)	研究の目標	2
(4)	研究組織	2
(5)	租税教育の全体計画	3
(6)	研究の経過	4
3	研究の実際	
(1)	令和3年度租税教室	5～6
(2)	令和4年度租税教室	7～8
(3)	総合的な学習の時間における取組	9～10
(4)	社会科での取組（税に関する授業）	11～12
(5)	社会科での取組（税に関する作文）	13
(6)	美術科での取組（税に関する絵はがきコンクール）	14
4	研究の成果と課題	
(1)	アンケートの結果と考察	14～15
(2)	研究の成果と課題	15～16
5	おわりに	16

## 1 はじめに

### (1) 指宿市の概要

指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置する人口39,011人（令和2年国勢調査確報値）面積148.81平方キロメートル（令和3年7月1日時点）の花と緑に溢れた食と健幸のまちである。

東は錦江湾を隔てて大隅半島と対峙し、北は県都鹿児島市、西は畑作地帯が広がる南九州市と隣接している。南は東シナ海に臨み、明媚な風光を誇っている。中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には標高924メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には潮の干満で陸続きになる、環境省のかおり風景百選に認定された知林ヶ島を有している。



市の全域を霧島火山脈が縦断しており、世界に類を見ない「天然砂むし温泉」をはじめ、豊富に湧出する温泉に恵まれている。また、1日に10万トンも湧き出る清水に代表され、豊かな水環境を有するそうめん流しで有名な唐船峡の周辺地域は、国土交通省の水の郷百選に認定されている。さらに、市内には橋牟礼川遺跡や水迫遺跡に代表される歴史的にも貴重な発見のあった遺跡が多くあり、歴史のまちとしても知られている。年間平均気温は、暖流の影響で約18度と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞する北限の地とも言われている。

（指宿市HPより）

### (2) 指宿市立山川中学校・校区の概要

指宿市立山川中学校は、創立48年の歴史と伝統をもち、学校教育目標「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成～自ら課題を解決する生徒・自他の良さを認め支え合う生徒・郷土を愛する生徒～」、校訓「好学」「友情」「実践」のもと、教師・生徒が一丸となって、日々の様々な活動に取り組んでいる。特に、総合的な学習の時間のなかで「いぶ好き『ふるさと学』」を行い、特色のある山川地区の歴史や文化について深く学んでいる。生徒数は令和4年9月現在、1年生70名、2年生72名、3年生65名の計207名で、純朴で心優しい生徒が多く、学年の隔てなく仲良く学校生活を送っている。山川中学校は授業開始3分前入室、1分前黙想を徹底することで、落ち着いた学習態度を醸成している。

本校の校区となる指宿市山川地区は、薩摩半島の最南端鹿児島湾口に位置し、面積は37.17平方キロメートルである。霧島火山帯が校区内を縦断しているため、火山湖の鰻池（周囲3.81キロメートル、面積1.21平方キロメートル、最大水深61メートル）や火山湾を有し、各所に温泉が湧出している。東は海を隔てて大隅半島と相對し、北と西はおおむね、山地と平坦地を持って指宿地区及び開聞地区と境し、南は耕地が主で、東シナ海に臨んでいる。

屈曲の多い海岸線約20キロメートルは変化に富み雄大な景観を連ねている。また、気候は暖流の影響で年間平均気温18.5度と温暖で亜熱帯的気候である。山川地区は、JR指宿枕崎線沿いであり、山川駅、大山駅、西大山駅の三つの駅が設置されており、西大山駅は本土最南端の駅となっている。

## 2 研究の概要

### (1) 研究主題

租税教育を通して、租税に関する興味・関心を高めるとともに、税や財政についての正しい知識と理解を深めさせ、社会に貢献できる生徒を育成する。

### (2) 主題設定の理由

租税教育の目指すものは、「平和的な国家及び社会の形成者としての資質を養い、生徒を取り巻く身近な事象をとらえてこれを民主的な観点に立って深く考え、更に望ましい実践的な態度や習慣を身につけさせていく」ことである。

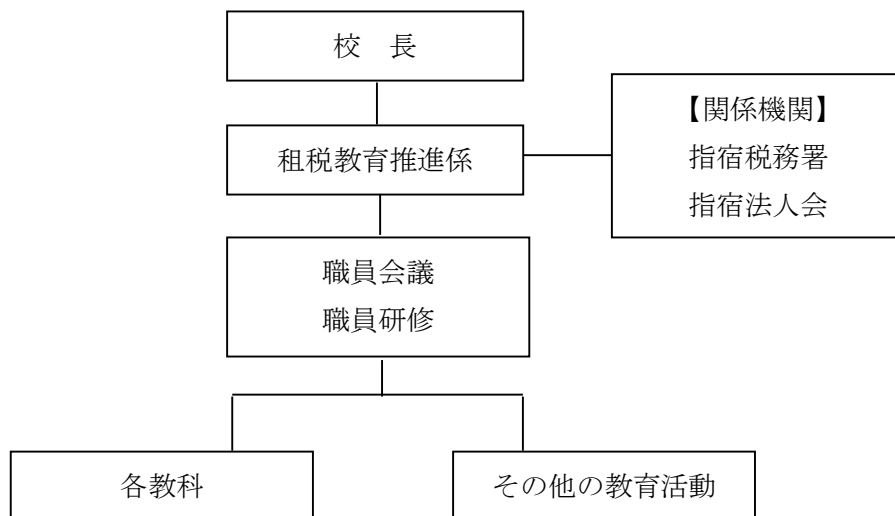
鹿児島県における租税教育は、「租税に関連した事項を通して郷土について関心を高め、公民としての資質を身につけ、国家及び社会における権利と義務の主体者として、自主的に判断し行動するための諸能力を育てる。」ことにねらいを置いている。

これまで山川中学校では3年生の社会科公民的分野で財政及び租税の意義、国民の納税の義務について学習してきた。また、1年生では租税教室を開催し、税に関する知識の習得と、税への関心を高める学習を行ってきた。そして、夏季休業中の課題として、「税に関する作文」や「税に関する絵はがきコンクール」に応募し、意識を高める活動を行ってきた。これまでの活動に加えてさらに全学年を通じて、また学校のより多くの教育活動で租税に関連する学習を行うことは、公民的資質を高めていくうえでとても大切なことである。そこで税制や財政についてこれまで以上に深く学び、興味・関心を高め、税の意義や役割を正しく理解し、様々な税がどのように使われてこの社会が成り立っているのかを調べ、自らが主体的に判断し行動できる生徒の育成を目指して、この主題を設定した。

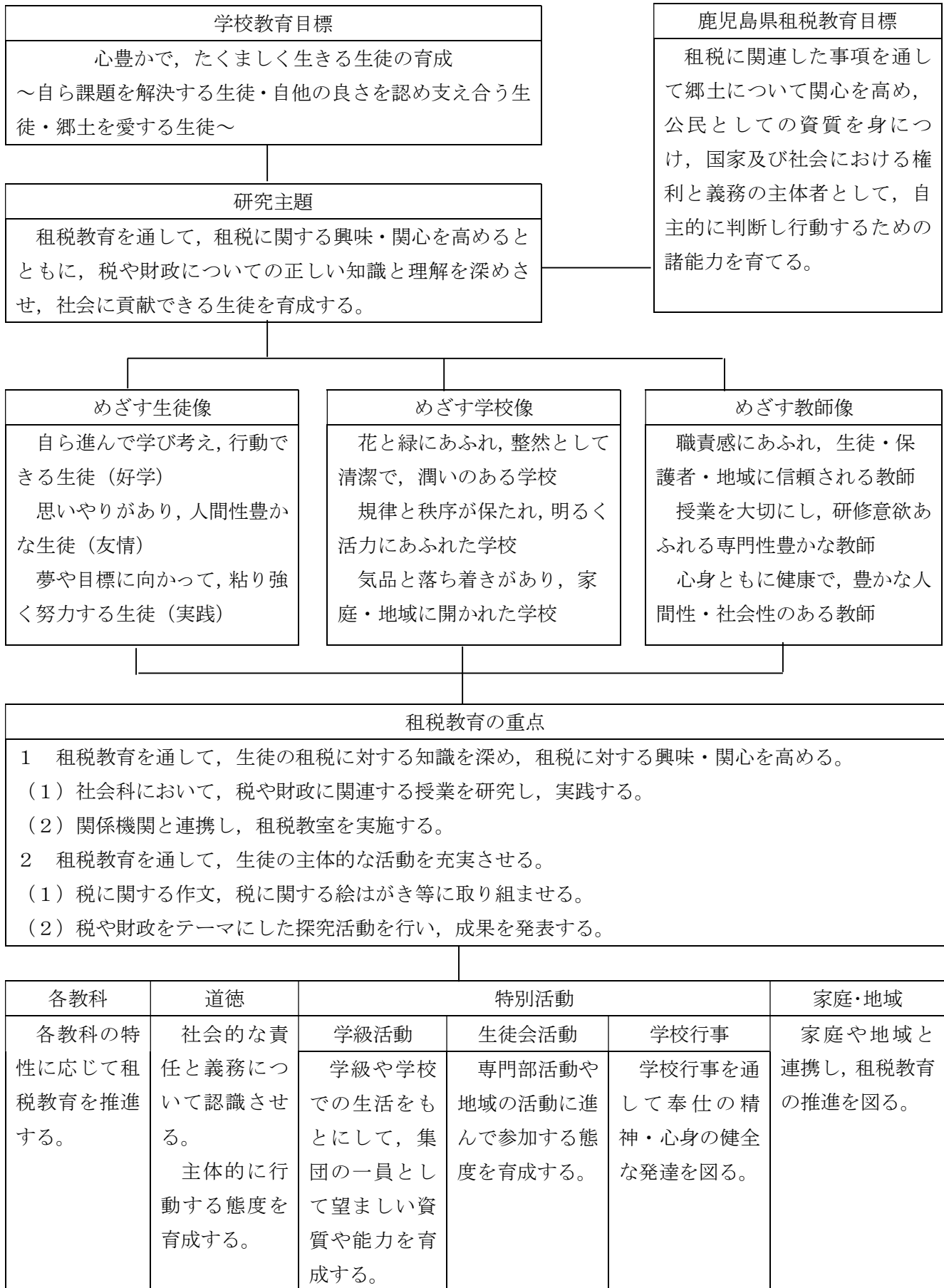
### (3) 研究の目標

- (ア) 税についての興味・関心を高める。
- (イ) 税や財政の役割について、正しい知識や理解を深める。
- (ウ) 身近な生活と税との関連を知ることで、社会の一員として主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。

### (4) 研究組織



(5) 租税教育の全体計画



(6) 研究の経過

1年目 (令和3年度)

月	研究内容
5	○租税教育研究委嘱の確認
6	○租税教育についての研究主題, 研究計画の決定 ○租税教室についての打ち合わせ ○令和3年度 第1回租税教室の開催 (1年生対象 指宿法人会青年部)
7	○学期の反省 ○税に関する作品への応募についての打ち合わせ
8	○夏季休業中の課題 「税に関する作文」(社会科) 「税に関する絵はがき」(美術科)
9	○夏季休業中の課題の出品 「税に関する作文」(社会科) 「税に関する絵はがき」(美術科) ○生徒への租税に関する意識調査アンケートの実施
10	○3年生租税学習 (総合的な学習の時間)
11	○文化祭での3年生租税学習のまとめの展示 ○税に関する社会科の授業 (3年生)
12	○学期の反省
3	○初年度の反省

2年目 (令和4年度)

月	研究内容
4	○令和4年度の研究計画等の決定
6	○租税教室についての打ち合わせ ○令和4年度 第1回租税教室の開催 (3年生対象 指宿法人会青年部)
7	○税に関する社会科の授業 (1年生) ○学期の反省 ○税に関する作品への応募についての打ち合わせ
8	○夏季休業中の課題 「税に関する作文」(社会科) 「税に関する絵はがき」(美術科)
9	○夏季休業中の課題の出品 「税に関する作文」(社会科) 「税に関する絵はがき」(美術科) ○生徒への租税に関する意識調査アンケートの実施
10	○研究冊子の作成 ○鹿児島県租税教育研究会での発表準備
11	○鹿児島県租税教育研究会での発表 ○税に関する社会科の授業 (3年生)
12	○学期の反省
3	○2年目の反省

### 3 研究の実際

#### (1) 令和3年度租税教室

##### 1 目的

生徒一人一人が自ら考え主張することができる全員参加型4択クイズを通しながら，税に関する知識を習得し，各分野における課題と現状を踏まえ，税の使われ方についても考える機会として，税への関心を抱くことを目的とする。

##### 2 期日・場所・時間

令和3年6月29日（火） 山川中学校体育館 6校時

##### 3 対象生徒

1年生 72名

##### 4 講師

指宿税務署，指宿法人会青年部

##### 5 内容

税金に関するクイズ 税金の使途について 教育にどれだけの税金が使われているか  
グループディスカッション：テーマ「コロナ」対策として優先すべきものは？ 質疑応答

##### 6 準備するもの

《学校》 プロジェクター，スクリーン，音響設備（マイク2本，スタンド），  
電源コード（リール），机×1台，椅子×2脚

《法人会》 パソコン，4色カード

【クイズに答える生徒たち】



【積極的に発表する生徒】



感想用紙

正直、税は消費税とかしか知らなかったから、税が  
たくさんあることも知らなかったし、税がそんな億  
とか兆もかかることを知らなかったから、びっくりしたし、  
いい勉強になった。今は、消費税などとは関係が  
ないけれど、木になると、まだまだ今の私たちではよ  
く知らない税もふえるので、今よりさらに税への関心  
が上がると思う。でも今は、自分の近くにある身近な税  
から少しずつ考えて、どんなことに税が使われるの  
か、どれくらいそれに税がかかっているのかを考えていま  
いと思った。今日は税について学べてよかった。

感想用紙

租税教室で、税の大切さや税の使い道など  
をたくさん知ることができました。また、日本はたくさ  
んの借金があるのだと、とてもびっくりしました。なので、  
少しでも無駄な買い物をしないように心がけようと  
改めて思いました。また、今の税金は10%なのに、まだ  
8%のものがあるのだと初めて知ることもありました。特に  
今の時期では、コロナウイルスという問題もあるので、国に  
返さないといけない税金も多いと思うので、コロナウイルスで  
大変な時期かもしれないけれど、逆に税金の大事さに、気が  
くことのできる、チャンスもある時期かもしれないので、今後  
は、もっと税金について考えて生活を送りたいと思ってい  
ます。租税教室を開いてくださり、ありがとうございました。



## (2) 令和4年度租税教室

### 1 目的

生徒一人一人が自ら考え主張することができる全員参加型4択クイズを通しながら、税に関する知識を習得し、各分野における課題と現状を踏まえ、税の使われ方についても考える機会として、税への関心を抱くことを目的とする。

### 2 期日・場所・時間

令和4年6月30日(木) 山川中学校体育館 6校時

### 3 対象生徒

3年生 65名

### 4 講師

指宿税務署、指宿法人会青年部

### 5 内容

税金に関するクイズ 1億円はどれだけの重さがあるか、実際に持ってみよう

税金の使途について 教育にどれだけの税金が使われているか

「コロナ」対策として優先されるべきものは? 質疑応答

### 6 準備するもの

《学校》 プロジェクター、スクリーン、音響設備(マイク2本)、電源コード(リール)  
扇風機

《法人会》 パソコン、4色カード、1億円のレプリカ

【クイズに答える生徒たち】



【1億円のレプリカを持った様子】



感想用紙

私は普段、よく買い物をするが、「なんで税はあるのだろう、なにに使われているのだろう。」とずっと疑問に思っていました。

一番の驚きは、山川中学校には、2億円程の税金がかかっているということでした。私はそれまでかかっているとは思っていませんでした。とてびっくりしました。ウクライナとロシアの戦争が行われています。

私たちには何もできないのが悔しいなと思っていましたが、昔投から納めている税(消費税)などがウクライナ支援になるということを知り、むしろ役に立っているのではいいかと思いました。今日は、たくさんのお話を学びました。特に、クイズで税のことを楽しく知ることができ、税に対する関心も大きくなりました。

感想用紙

今日の租税教室、とてもためになりました。私は、税と関わる、学習することがなかったのですが、初めて知ることが多かったです。4択クイズも、何も分からなくて、答えとして、とんでもなくびっくりしました。刑務所が、みんなの税金で成り立っているのを知りませんでした。コロナや、ウクライナ情勢も関係するのは意外でした。今日、知ったことを整理して改めて考えてみると、税金がなかったら何もできない!と思いました。親や大人、中学生1人1年あたり100万円も、税金を...感謝です。今日は貴重な体験できて、とても嬉しかったです。今日は、ありがとうございました。

(3) 総合的な学習の時間における取組

3年生の総合的な学習の時間において、租税や財政についての課題追究学習を行った。生徒の興味・関心を高めるために、第1時のオリエンテーションで税に関するクイズや、税の使い道についての説明、「コロナ」対策で優先すべき税の使い道についてのグループディスカッションなどを行った。その後、3人グループで追究したいテーマを決め、インターネットを用いての調べ学習を行い、調べたことを広幅用紙にまとめた。まとめた内容は、文化祭で総合的な学習の時間の成果として展示を行った。

課題追究学習の流れ

時間	活動内容
1	オリエンテーション
2	研究テーマ決め
3	調べ学習①
4	調べ学習②
5	調べ学習③
6	調べ学習④
7	調べ学習⑤
8	まとめ①
9	まとめ②

【オリエンテーションの様子①】



【オリエンテーションの様子②】



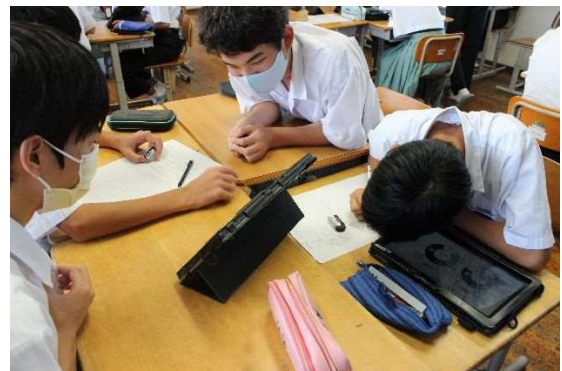
【調べ学習をする様子①】



【調べ学習をする様子②】



【調べ学習をする様子③】



【「租税や財政についての課題追究学習」 テーマ一覧】

- ①たばこ税について
- ②税金の種類
- ③公共事業関係費
- ④世界一税金が高い国 ハンガリー
- ⑤スポーツの税について
- ⑥世界のユニークな税
- ⑦酒税
- ⑧世界の税収とその使い道
- ⑨税金のしくみ デンマーク
- ⑩税金の使い道
- ⑪日本と外国の税金の違い
- ⑫消費税について
- ⑬学校に使われている税金
- ⑭税の行先
- ⑮スポーツ選手の納める税
- ⑯色々な税金
- ⑰税の種類とその内容
- ⑱所得税について
- ⑲政府開発援助
- ⑳世界のおもしろい税
- ㉑衛生費
- ㉒年金について

【まとめの例①】

## 学校に使われている税金

福崎三奈。 外菌絢心。 和田美乃里。

① 1年間で1人あたりの子どもに使われている税金  
公立中学校・・・約97万9000円

② 公教育を税金ではなく自費で負担したら  
中学生1人につき1年間約100万円は  
月謝8万円以上の塾に行っているのと同じ

③ 校舎や体育施設のための費用  
1,694億円(1年間)

～税金が(学校)使用されているもの～

- ・プール
- ・教科書
- ・パソコン
- ・楽器
- ・理科の実験道具
- ・ボール
- ・跳び箱 など...

めあて 山川中学校をつくるには?

校舎	約17億	サッカーゴール	約80万
黒板	約400万	鉄棒	約20万
机	約205万	バスケットゴール	約105万
椅子	約144万		

合計 17億950万

【まとめの例②】

## 世界のユニークな税

MEMBER 一竹那期、外菌補赤子、中間優彦

### 1 脂肪税

- ・デンマークが最初
- ・肥満を増加させる食品に対する課税
- 例)肉、チーズ、牛乳、ソーダ など

### 2 独身税

- ・独身者にかける税金のこと
- ・目的...早期の結婚を促す
- 少子化に歯止めかける
- 生涯未婚率 男: 4人に1人 女: 7人に1人
- 日本では約4700万人

### 4 学位税

国立大学を卒業したあと納める収入に応じて納める税額が変わる。→平等

【まとめの例③】

## 消費税について

【村井沙弥、小泉陽菜、栗田文也】

消費税の歴史  
1989年(平成元年)4月1日に税率3%で導入。  
1997年に5% → 2014年に8% → 2019年に10%  
に引き上げられた。10%は飲食料品、新聞以外1  
少子高齢化が加速し、社会保障費が増え、  
軽減税率や軽減税率に軽減部分が減っているから。

消費税の使い道  
①子ども・子育て支援  
②子育ての軽減、保育・幼児・高等の教育の無償化  
③年金  
日本20の15人に1人が年間65万円の年金をもらう  
④介護  
地域包括ケアシステムの構築  
⑤医療  
医療・介護サービスの拡大  
所得に応じて保険料の見直し

消費税を上げるメリット  
①国の財源が安定する ②税額も納税  
③社会保障が充実する  
④公共事業や観光に財源を確保し、景気  
を回復させる

消費税率を上げるデメリット  
①インフレ ②物価の上昇  
③物産品の競争力低下  
④物産品の競争力低下  
⑤物産品の競争力低下

(4) 社会科での取組 (税に関する授業)

社会科学習指導案 (歴史的分野)

日 時 令和4年7月19日 (火) 第3校時

対 象 1年1組 (男子20名 女子15名 計35名)

授業者 教 諭 瀬 戸 口 達 洋

1 単元名 「古代までの日本」

2 本時の目標

- ア 奈良時代の農民や貴族の暮らし、内政や外交に関する資料をもとに、奈良時代に税制度が確立し国家のしくみが整えられた理由について資料から読み取り、その知識を身に付けさせる。
- イ 奈良時代の税制度について支配者の視点と納税者の視点から多面的・多角的に考察し、奈良時代の税のあり方について表現させる。

3 学習指導要領との関連

解説社会編 (p. 94~p. 98) 歴史的分野 B 「近世までの日本とアジア」 (1) 「古代までの日本」

4 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 5	1 奈良時代の農民の税負担の資料を見て、農民に課された税が適切か適切でないか自分の主張を考える。 2 本時の学習課題を確認する。 奈良時代に農民に課された税の負担は適切であっただろうか。	1 奈良時代の農民には重たい税負担が課されていたことに気付かせ、税に関する関心を高められるようにする。 2 学習への見通しを持てるようにする。
展開 1 0	3 農民の暮らしや貴族の暮らし、内政や外交の資料から、奈良時代の税の使い道や税の集め方を読み取る。	3 奈良時代の税の使いみちについて複数の資料から読み取れるように助言する。
5	4 奈良時代の税の使いみちを踏まえて、奈良時代の農民に課された税が適切か適切でないか再度自分の主張を再構成する。	4 支配者が国家を維持するために必要な経費も税を課すことで集めていた事に気づかせ、多面的・多角的に税のあり方について考察できるようにする。
1 0	5 グループで奈良時代の税のあり方について考察し、適切か適切でないか最終的な結論を導く。	5 円グラフを用いて意思表示を可視化させることで、良い・悪いだけでなく、その間にある多様な考えに触れられるようにする。
1 0	6 グループの考えを全体場で発表し、税に関する考えを深める。	6 立場や税を捉える視点の違いによって、税のあり方について様々な考えが生まれることに気付かせる。
まとめ 1 0	7 奈良時代の税の流れをまとめ、律令国家成立における税の役割について考える。	7 奈良時代の税の流れを図にまとめ、律令制下における税制度についてまとめを行う。

【奈良時代に農民に課せられた税の負担は適切であると思いますか？】

「適切である」

- 生活に必要なことが税でつくられているから。
- 税を役所や都に使っているの、うまく使えていると思ったから。
- 税は国をつくるために大切だと思ったけど、農民が苦しんでまで納める必要ないと思う。
- 他の人のために働くのはおかしいが、道路をつくったりするために税は必要だと思った。
- 税はすべて自分たちの使う整備や私たちのために働いてくださっている役人のために使われているから。
- 税の使いみちが多いから、たくさんもらうことも必要だが、亡くなっている人もいるから、もう少しゆるくしてもいいのではないだろうか。
- 税のおかげで役所や道路網の整備ができ、安全に過ごすことができたと思うから適切である。
- 国を良くし、守るためにはしょうがない負担で、みんなが過ごしやすくしている。だが、少し負担が大きすぎる気もする。
- 役所・道路・建物などに使われているから。
- 農民の運ぶ税は、色々なことに使われているが、農民の負担は変わらないから。
- 道路の整備などは必要なことだから、仕方がない。でも、役人の給料は多すぎると思う。

「適切でない」

- やっぱり収穫が多い人も収穫が少ない人も同じ税を払うのはおかしいと思う。
- 道などの整備は農民にも利益はあるが、農民にはお金は渡さないし、貴族は4億円ぐらいもらっていて不平等だと思ったから。
- 律令国家となり、全国を統一する国であるのに、税に耐え切れず逃亡する人も出てきたから適切でないと思う。国を守るために必要なのは分かるが、国の民である者たちが、国に苦しめられている。
- 税とかでお金をもらう人が多いから。
- 一般の人は働いてもお金（給料）をもらうことができないから。
- まだ少し多いような気もするが、色々なことをするためだから仕方がないと思う。
- 誰かの給料のために、他の人を働かせているから。
- 税は国をつくるために大切だと思ったけど、農民が苦しんでまで納める必要はないと思う。
- 役人の収入や道路を整えるためとしても、さすがに農民が納める税が多いし、負担が大きいから。
- 税の使い方については、適切だと思うけれど、役人の年収があまりにも高すぎるから、年収を少し減らして、税でかかる農民への負担を減らすことができたのではないかと思う。あまり大変だと食糧不足で餓死してしまう人もいるから、人口の減少により、税を払う人が減ってしまい、もっと大変になってしまう。
- さすがに都まで運ぶので死人が出る命がけのことをさせられるから。
- 集めた税をしっかりと使っているが、都まで行くのは間違っていると思う。

「どちらともいえない」

- 役所や道路の整備などに税を使うことはいいと思うけど、税を届けに行く人たちは命がけだから。
- 国を整えるために必要ではあるけれども、わざわざそんなに歩かせるのも違うと思ったから。
- 国のためになっているから。
- 農民に課せられた税は、国のため必要で、仕方がないことだから。
- 使いみちを見てつらいけど、国の役に立つ。

(5) 社会科での取組（税に関する作文）

夏季休業中の課題として、全校生徒に「税に関する作文」を出題した。多くの生徒が、税に関して詳しく調べたり、自分の考えを立派に表現していた。下の作品は、令和3年度の本校生徒の入賞作品である。

## 鹿児島県納税貯蓄組合連合会会長賞

### 未来を創る税

指宿市立山川中学校3年

納税は国民の義務である。納めることばかりに意識が向きがちだが、私たちから集めた税金はどのように使われているのだろうか。

今月、市役所から新型コロナワクチンの接種券が来た。入手が困難だったマスクも生産が追いつき、今ではどこでも安く手に入るようになった。マスク生活にも慣れ、テレビでは毎日決まった時間に感染者情報が流れている。

昨年の一月初旬、国内でこのウィルスが初確認された時、誰がこんなに長引き、第五波まで続くと思っただろうか。しかもウィルスは次々と変異し、感染力が高くなっている。十五歳以上であったワクチン接種も、いつの間にか十二歳以上に引き下げられた。こんなにも医療が進んでいる現在で、一日一万人もの人が命を落とすウィルスが世界中に蔓延しているのだ。本当に映画のような話である。政府は他にも様々な経済対策を行っているが、その対策にも、この接種にも、国民が納めた税金が使われている。法人や個人事業主を支援するための対策は、それを逆手に虚偽申請をする人がおり、本当に必要な人に支援できているのか疑問視する声もある。映画のような出来事に翻弄され、私の中学校生活はあと半年となった。

この夏休みに、東京オリンピックが行われた。税金の無駄遣いと言われ、閉会後も様々な意見が出ているが、私は初めて見る自国のオリンピックにとっても感動した。フェンシングや卓球など、今まであまり見る事のなかったスポーツに熱中した。選手だけでなく、関わってきた方々の苦労はいかばかりかと思う。ただ、このオリンピックにかかった費用も、東京都と国の税金なのだ。約三兆円という莫大なお金は無観客となった為、チケットの売上や経済効果も期待できない。しかし、それだけで無駄遣いと判断するのはどうかと思う。開催が決まったことで、観光や建設業では経済効果もたらされたのではないだろうか。失業者を雇用することも増えただろう。この自国開催を目指して開発されてきたものも多くあるはずなのだ。それは今後も続いていく未来への投資となる。

誰もが安心できる社会、国民の未来を創るための投資と考えると、税金の無駄遣いとはならない。むしろ、それが税金の本来の使い道なのではないだろうか。

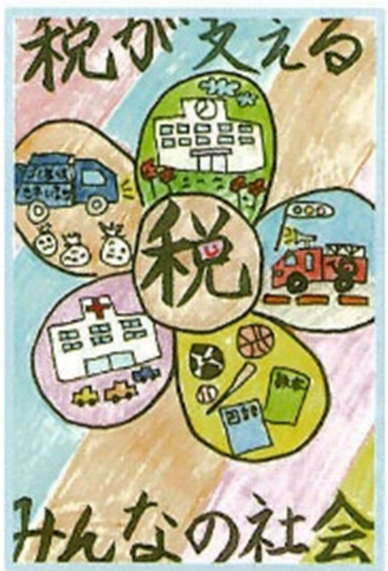
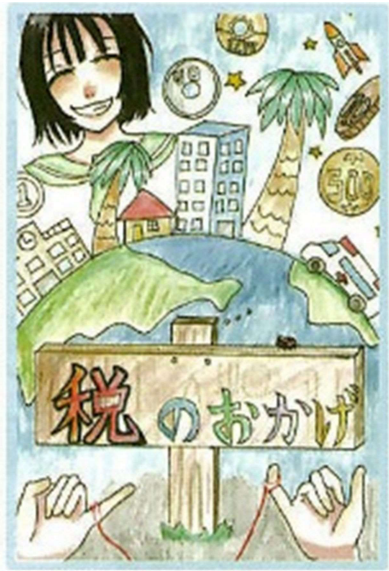
(6) 美術科での取組 (税に関する絵はがきコンクール)

夏季休業中の課題として、「税に関する絵はがきコンクール」の制作に取り組ませた。下の作品は令和3年度の入賞作品である。

優秀賞



佳作



4 研究の成果と課題

(1) アンケートの結果と考察

生徒の実態と変容を把握するために、令和3年9月と令和4年9月に同じ内容の「税に関するアンケート」を実施した。前年度の2年生と本年度の3年生のアンケート結果を比較した。

【アンケートの結果】(対象 令和3年 2年生61名 令和4年 3年生61名)

質問1 あなたは税について興味・関心がありますか？

	ある	少しある	あまりない	ない
令和3年	6. 6%	29. 5%	54. 1%	9. 8%
令和4年	3. 3%	42. 6%	49. 2%	4. 9%

質問2 あなたは税に関するニュースに注目しますか？

	する	少しする	あまりしない	しない
令和3年	8. 2%	27. 9%	41. 0%	23. 0%
令和4年	9. 8%	34. 4%	47. 6%	8. 2%

質問3 あなたは税金は必要だと思いますか？

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
令和3年	65. 6%	31. 1%	3. 3%	0%
令和4年	75. 4%	24. 6%	0%	0%



質問4 あなたは税金に関する学習は必要だと思いますか？

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
令和3年	19.7%	52.5%	24.6%	3.3%
令和4年	42.6%	52.5%	4.9%	0%

質問5 税金は私たちの生活に役立っていると思いますか？

	思う	少し思う	あまり思わない	思わない
令和3年	83.6%	11.5%	3.3%	1.6%
令和4年	77.0%	21.3%	1.7%	0%

【考察】

質問1 あなたは税について興味・関心がありますか？

令和3年は「ある」と回答した生徒が6.6%であったが、令和4年は3.3%に下がっている。「少しある」と回答した生徒の割合は大きく上がり、「あまりない」「ない」と回答した生徒の割合は下がっている。

質問2 あなたは税に関するニュースに注目しますか？

令和3年は「あまりしない」と回答した生徒が41.0%であったが、令和4年は47.6%と上がっている。「する」「少しする」と回答した生徒の割合は上がり、「しない」と回答した生徒の割合は大幅に下がっている。

質問3 あなたは税金は必要だと思いますか？

「思う」と回答した生徒が令和3年は65.6%であったが、令和4年は75.4%と上がり、「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒が令和4年は0%となっている。

質問4 あなたは税金に関する学習は必要だと思いますか？

「思う」と回答した生徒が令和3年は19.7%、令和4年は42.6%と上がっている。「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は下がっている。

質問5 税金は私たちの生活に役立っていると思いますか？

「思う」と回答した生徒が、令和3年は83.6%であったが、令和4年は77.0%と下がっている。「少し思う」と回答した生徒の割合は上がり、「あまり思わない」「思わない」と回答した生徒の割合は下がっている。

以上のアンケート結果から、これまでの租税教育を通して、税についての知識を得、税を納める意義については理解させることができたと考えられる。しかし、税についての興味・関心についてはまだまだ高いものとは言えない。これからも引き続き、様々な教育活動の中で税に関する学習を進めていくことで、生徒の興味・関心を高めていく必要があると考える。

(2) 研究の成果と課題

(ア) 成果

- ①生徒が税に関する学習に楽しく、積極的に取り組むことができた。
- ②税の作文や税の絵ハガキコンクールに積極的に応募することで、主体的に税について調べ、深く学ぶことができた。

③税に関する学習を進めることにより、生徒が税の重要性を理解し、その使い道などを知ること  
で、社会の一員としての自覚を高めることができた。

④グループでテーマを決め、調べ学習を行うことで、他者と協力してまとめあげることの喜びを  
感じるとともに、税について深く掘り下げて学習することができた。

#### (イ) 課題

①税についての興味・関心を思うように高めることができなかったので、今後も継続して租税教  
育に取り組み、内容を工夫しながら、生徒の興味・関心を高めていきたい。

②租税教育に取り組む学年に偏りがあったので、1年生から3年生にかけてまんべんなく取り組  
んでいきたい。

### 5 おわりに

2年間にわたり、租税教育研究委嘱校として、「租税教育を通して、租税に関する興味・関心を高  
めるとともに、税や財政についての正しい知識と理解を深めさせ、社会に貢献できる生徒を育成する」  
を主題に、研究実践に取り組んできた。租税教室では、指宿税務署と指宿法人会青年部の方々の協力  
のもとに、とても楽しくわかりやすい、そして工夫を凝らした租税教室を開催していただき、生徒が  
意欲的に学習することができた。3年生の総合的な学習の時間における「課題追究学習」では、グル  
ープで追究したいテーマを決め、みんなで協力しながら、調べたことをまとめ上げることができた。  
3年生らしい立派な出来栄で、文化祭で展示し、成果を発表することができた。夏季休業中の課題  
として「税の作文」と「税の絵はがき」を出題したが、税の作文は、しっかりと調べて書かれている  
内容の濃い作品が多く、「税の絵はがき」では丁寧に彩色し、カラフルな作品が多かった。提出率も  
非常に高かった。社会科の授業のなかでは「税に関する授業」に取り組んだ。1年生の授業では、「奈  
良時代に農民に課された税は適切であっただろうか」という問いに対して、自らの考えをしっかりと  
表現できていた。これからも様々な取組が学校の教育活動の中で実践できると思うので、今後も継続  
して租税教育に取り組んでいきたい。そして、生徒たちが今以上に税について興味をもち、税につ  
いて深く学び、自らが支えられて生活しているということに気付き、社会の一員として貢献できる態  
度を身に付けてほしいと思う。本校の職員も2年間の租税教育の取組で生徒同様学ぶ機会が多く、よい  
経験をさせてもらった。

最後に、今回研究の機会を与えてくださった鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、租税教育の研  
究・実践に際して、御指導・御協力をいただいた指宿税務署、指宿法人会青年部、その他の関係機関  
の皆様に心から感謝申し上げます。